

合唱団ぽこ・あ・ぽこ

20周年記念演奏会

特集 谷川俊太郎×後藤 丹の世界

混声合唱組曲 気球の上る日

いざない
風が強いと
かなしみ
気球の上る日

混声合唱のための

ミネ・クレインの絵によせて

ふえ
こかけ
ゆき
いろ



4声のためのミサ曲 より

Sanctus
Benedictus
Agnus Dei (W.Byrd 作曲) ほか

指揮：竹田 光

ピアノ：佐藤美奈子

と き 2018年5月5日(土)

午後3時 開演 開場30分前 終演予定 午後4時40分

ところ リージョンプラザ上越コンサートホール

入 場 料 無料
後 援 上越市 上越市教育委員会 新潟県合唱連盟 久比岐野合唱連盟
問い合わせ TEL：025-545-3653(竹田) e-mail：poco@joetsu.ne.jp

合唱団ぽこ・あ・ぽこ ホームページ <http://purety.jp/pocoapoco/>
Twitter (合唱団ぽこ・あ・ぽこ @PocoJoetsu) でも情報発信中!

作曲家からのメッセージ

混声合唱組曲 気球の上る日

1996年に全曲初演された混声合唱組曲。谷川俊太郎さんの「空」に関する4つの詩に基づいています。初演メンバーには学生時代の竹田 光さんをはじめ、現在もこの世界で活躍する何人もの方々が名を連ねています。3曲目の《かなしみ》は私がおそらく初めて書いた無伴奏による曲で、これ以降私がア・カペラを多く書くきっかけとなりました。1998年に音楽之友社から刊行され、これまで多くの合唱団に取り上げていただいた作品です。

混声合唱のための ミネ・クレインの絵によせて

合唱団ぽこ・あ・ぽこの委嘱により作曲し、2006年に完成し初演していただいた作品です。ミネ・クレインは日本人女性でアメリカの大富豪コーネリアス・クレインと結婚し、夫の死後、絵画に手を染めました。その画風は素朴で絵本を思わせるものがあります。谷川俊太郎さんはその絵に寄せて《ふえ》《こかげ》《ゆき》《いろ》の4篇の詩を書きました。おそらく個々の絵を念頭に置いたのではなく彼女の代表的モチーフをテーマにしたのでしょう。

プロフィール

後藤 丹 (ごとう まこと)



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程修了。主な作品に、連作歌曲集《この世界のぜんぶ》(日本作曲家協議会刊)、混声合唱組曲《みまかれる美しきひとに》(全音楽譜出版社刊)、《遊びをせむとや生まれけむ》(全音ピアノピース)等。また、パッヘルベルの《カノン》、チャイコフスキーの《くるみ割り人形》等、百曲を越える編曲が全音楽譜出版社から刊行されているほか、「おいしいピアノレシピ・フルコース」等執筆の仕事も多い。現在、日本音楽表現学会会長、本年3月まで上越教育大学大学院教授を務める。

合唱団ぽこ・あ・ぽこ



常任指揮者である竹田 光の呼びかけにより、リージョンプラザ上越A練習室で結成。団名の「ぽこ・あ・ぽこ (poco a poco)」はイタリア語で「少しずつ」という意味で、その名のとおり「少しずつ」上達していくことを願い名づけられた。発足当初の1999年3月に全曲 後藤 丹作品という演奏会を開催。その後、ア・カペラ作品を中心に、後藤 丹、木下牧子、松下 耕、信長貴富、千原英喜などの邦人作品をはじめ、ルネサンスのモテットやマドリガル、近現代の宗教曲をはじめとする多種多様な曲に挑戦中である。毎週日曜日夕方5時から8時まで、カルチャーセンター(有田地区公民館)で活動しており、上越市の他、妙高市、長岡市、三条市などから団員が集い練習している。団員募集中。